

## CLOSE UP!



## 保健、医療、福祉に関することなら何でもOKの相談窓口 センター職員が院内各部署と強力に連携して対応します ～先駆的な「地域医療連携センター」の取り組み～

### ～地域医療連携センターの目的とは～

最近、一人の患者さんを地域の医療機関全体で診ていこうという流れが進んでいます。当院では全国的にもいち早く11年前からその取り組みを開始し、日頃から地域の“かかりつけ医”と密に連携しコミュニケーションをとるように努めています。

地域医療連携センターは、本院が大学病院として社会が求める使命に応えて、適切で最高の医療を提供するため、お互いの専門性を積極的に活用して患者さんが適切な診療を受けることができるように、院内部門も含めて地域医療機関との密接な連携を推進しています。

### ●歴史ある地域の中核病院として

徳島大学病院は四国でもっとも伝統があり、その70年近い歴史のなかで、県内の医療機関と密接な関係を築いてきています。難病相談について県より委託を受けて、特定疾患の医療および日常生活の相談をお受けしています。

今年の4月からは県の[がん診療連携拠点病院]に指定され、「がん相談」に関しては当センターが担当し、徳島がん対策センター事業としてのがん相談や、がんサロンの紹介などに取り組み、ホームページでも紹介しています。最近では患者さん・家族の方の意識も変わり、自宅での療養、看取りを希望する方も増えており、訪問看護や往診医と連携した支援も行っています。

さらには、平成20年7月に県の[肝疾患診療連携拠点病院]に指定され、肝疾患相談や地域へ出向いての検

診や広報活動も行っています。自分が肝炎ウイルスに感染しているかどうかを知らないという人も多く、検査の大切さや肝炎ウイルスに起因する肝がんなどについて市民講座やホームページで広く伝えています。

また、平成17年に[脳卒中センター]を開設し、徳島全県から脳卒中患者さんを24時間体制で受け入れ、急性期治療終了後には、回復期リハビリテーションが行えるように地域のリハビリテーション病院とスムーズな連携を図っています。

その他にも、遺伝についての悩みに対応する[遺伝相談室]、他院にかかっている患者さんに対して専門の立場から意見を提供する[セカンドオピニオン外来]、女性特有の悩みに応える[女性外来]といった私費診療の有料相談も受け付けています。



■説明は、徳島大学病院 地域医療連携センター センター長 金山博臣 (かなやま ひろおみ)  
副センター長 久米 博子 (くめ ひろこ) 他

■問い合わせ/地域医療連携センター

- 開設日時: 月～金曜(祝日は除く)、8:30～17:00
- お問い合わせ先: Tel.088-633-9107、088-633-9056 Fax.088-633-9107
- 徳島がん対策センターホームページ <http://www.toku-gantaisaku.jp/>
- 肝疾患相談室ホームページ <http://www.tokudal-kanshikkan.jp/>

### ●患者さん・家族の方が望む連携のために ぜひ“かかりつけ医”を持ちましょう!

各医療機関には、機能や規模によってそれぞれの役割があります。たとえば、診療所などは入院を必要としない患者さんを対象に医療を提供しています。一方、地域の中核病院は生命に危険のある救急医療や先進医療を提供しています。

徳島大学病院では“かかりつけ医”と協力し、患者さんの視点に立った安心して質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても、待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、かかりつけ医

の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。そのためにも、ぜひ普段から身近な「かかりつけのお医者さん」を持つようにしましょう。

当センターには、医療ソーシャルワーカー、看護師、事務の専任職員が常在し、各診療科の医師・歯科医師、コメディカル、事務職員などの院内各部署と強力に連携して体制作りに取り組んでいます。患者さんや関係医療機関をはじめとする皆さまの様々な視点から満足して利用いただけるものにしていきます。



また、時代、世相を反映して、このところ顕著なのが医療費など福祉分野の相談の増加です。経済問題を解決して医療が受けられるようにするためソーシャルワーカー5人体制で充実させています。

センター職員一同は、患者さんの期待に応えられる事を誇りとして、スタッフ全員がプロ意識と明るい笑顔でお待ちしております。